



「養老の滝」 撮影 | 遠藤秀紀

サマースクール特集！

岐阜県西濃地区で第2回サマースクールが開催されました。

平成29年9月5日～7日、COC+参加大学共通プログラム「サマースクール」が開催されました。昨年に続き2回目の開催となった今年のテーマは、「西濃圏域のプロデュース」。参加5大学の学生約50名が2泊3日寝食を共にし、岐阜県西濃圏域に人を呼び込む観光プランを提案しました。1日目は、大垣、養老、揖斐川の3コースに分かれ地域の資源を調査。その情報をもとに、1日目夜から2日の夜まで、チームでアイデアを出し合い、徹底的に考えました。3日目の発表会直前まで準備を続けた各チームの発表は、学生の想いとアイデアが詰め込まれた内容に仕上がりました。先生方からは、色々な角度、視点からよく考えられており、限られた時間の中でここまで仕上げた発表は素晴らしいと講評いただきました。



歴史と文化を体感した大垣コース！

大垣コースは、大垣市教育委員会の方に、歴史についてお話を伺いながら、大垣駅付近を巡りました。大垣共立銀行では、OKBストリートのまちづくりについて、地元の方からお話をうかがいました。その後、大垣市内を散策。通行手形を持って、大垣城や和菓子屋さん、おせんべい屋さんなど自由に巡り、観光の情報収集をし、最後は、奥の細道結びの地で合流しました。



伝統と工芸に触れた養老コース！

養老コースは、養老鉄道からスタート。大垣駅から養老駅まで電車で移動し、駅近くの安田ひょうたん店で、養老の名産「ひょうたん」を使用した工芸品を見学しました。ふるさと会館で養老鉄道を守る会の会長から、会の成り立ちや活動についてお話をうかがった後は、養老公園の中で、養老の滝やお土産店を散策。自分たちの足で歩きながら、養老地域の資源を考えていきました。



自然と暮しを見た揖斐川コース！

揖斐川コースは、道の駅池田町で情報収集をした後、SNSで話題となっている天空の茶畑を訪問しました。登山道を登った先には、まさに天空のような景色が広がりました。次に、歴史民俗資料館で揖斐川町の歴史を学んだ後は、揖斐川町の街に出て、今も残る長屋の町家を見学。そこは、揖斐川町の中でも一番長い家だそうです。実際に暮らしているご夫婦から貴重なお話を伺いました。



今年からは本学からは11名の学生が参加！

日本福祉大学からは4学部11名の学生が参加しました。初めて会う他大学の学生たちの中で、全体をまとめる学生もいれば、意見を言う学生、ムードメイクをする学生と、それぞれに自分の役割を見つけてチームに貢献する姿がありました。



「自分の将来を考えるきっかけに」

相手に合わせた話の組み立て方を意識するようになりました。考えることの楽しさを感じたので、将来は、企画営業など考える仕事をしてみたいです。

[経済学部3年 井川裕揮]



「自分から話さないと始まらない」

グループワークで自分の意見が採用されることで、自信を持てるようになりました。今後は、もっと多くの人と関わり、仲間を増やしていきたいと思います。

[社会福祉学部2年 伊藤友貴]



「もっと視野を広げたい」

今まで接点がなかった他大学生との交流は私にとって大きかったです。色々な考え方や価値観に触れることができ、今後の生活に取り入れたいと思います。

[社会福祉学部3年 金子透奈]

「協力して作り上げることから学ぶ」

チームで1つのものを作り上げることが、私にとって貴重な体験になりました。この経験から、協調性の大切さを改めて学びました。

[社会福祉学部2年 神戸俊弥]



「学びを実生活に活かす」

自分の意見を持っていても、発信しないと伝わらないということを、身をもって体験しました。早速、アルバイト先で提案をし、良い評価をもらえました。

[社会福祉学部2年 堀田祥多]



「役割の大切さ」

チームで活動するには、それぞれが役割を持つことが大切だと学びました。自分らしさを大事にして、自分がどうチームに関われるかを考えていきたいです。

[国際福祉開発学部3年 町野紗希衣]



「自分の地元をもっと知りたくなった」

岐阜県について、新しい人たちとの関係の中で考えられたことは良い経験でした。地元岐阜にも、こんなに魅力があったとわかり、素直に「いいな」と思えます。

[国際福祉開発学部3年 堀稚菜]

「自分が変化していく」

初対面の交流は苦手でしたが、だんだんと自分から意見を言う事ができるようになりました。初めましてでつながれるコミュニケーションを大切にしたいです。

[子ども発達学部3年 伊藤つかさ]



「学習の学びだけではない学び」

3日間、初対面の方との生活や共同作業の体験を通じて、共感や協調、コミュニケーションなど人間関係を作ることの大切さを学びました。

[社会福祉学部3年 山上高人]



「考えることに徹する経験」

普段の生活において、ここまでチームで本気で考えるという経験がなかったです。知らない学生同士で、最後までやり切ったことで自信になりました。

[健康科学部3年 高田隆平]



「まだまだ発想を広げられる」

地域の魅力を発掘して、地域活性のための計画を立てるのは、想像以上に学べることがありました。とても充実した2泊3日でした。

[社会福祉学部3年 泉周作]